

第75回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年6月8日(火) 9:32~9:45	場所	第一会議室
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、大澤子ども家庭部長、梅原企画政策課長、宮奈地域安全課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当副参事、穂山地域安全係長、健康課主任			
付議事項	1 ワクチン接種について 2 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種の現状</li> <li>・新型コロナワクチン職域接種各省庁向け説明会(第1回)</li> <li>・緊急事態宣言下における学校施設の目的外利用に関する要望</li> </ul>			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言が6月20日まで再延長された。6月20日に解除できるように感染対策、ワクチン接種の進展に努めていきたい。</li> <li>・市内感染状況は6月6日時点で941人であり、一時期よりは増加ペースが鈍化しているが、依然として予断の許さない状況である。特に20代の若年層の感染増加が続いている。</li> <li>・高齢者向けのワクチン接種の進捗は6割を超えるなど早いペースで進んでおり、今後は感染の抑制に繋がっているか、医師会に分析の協力をお願いしたい。</li> <li>・ワクチン接種については日々、国等から様々な情報が入ってくる。次の一般フェーズに向けた準備を進めてほしい。</li> <li>・市民の命を守るため、より多くの市民が、より早くワクチン接種をできるよう、全力で取り組んでいきたい。</li> <li>・職域接種でも接種券は必要であり、国からも6月中に発送を求められている。</li> <li>・6月12日(土)、13日(日)に1日100人体制で、小金井第四小学校で発送作業を行う。従事する全ての人に感謝します。</li> <li>・経済対策やワクチン接種の一般フェーズの進め方等については、小金井市緊急対応方針第6弾に掲載した。</li> </ul> <p>1 ワクチン接種について</p> <p>(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職域接種の概要が分かるものとして「新型コロナワクチン職域接種各省庁向け説明会(第1回)」を添付した。</li> </ul> <p>(新型コロナウイルス感染症対策担当副参事)</p>				

- ・今後の予定について。6月8日（火）から11日（金）までの夕方、福祉保健部内応援を得て接種券発送作業を行う。
- ・6月14日（月）に接種券を発送し、郵便局によれば19日（土）には配達完了予定とのことであるため、6月21日（月）から先行接種、6月24日（木）から予約受付開始、7月1日（木）から基礎疾患のある方を対象とした優先枠の接種を開始する予定である。
- ・7月以降、ファイザー製ワクチンの供給量が3割減少し、7月、8月の2か月間は緑センター、保健センターでの集団接種を行わないことから、国から供給を受けるモデルナ製ワクチンを用いた大規模接種での対応を検討している。

（市長）

- ・ファイザー製ワクチンは12歳以上、モデルナ製ワクチンは18歳以上が対象になっているが、本市においては、まずは一般フェーズとして16歳以上への接種を進めることとし、中学生については医師会や東京都教育委員会と協議を進めていきたい。

（福祉保健部長）

- ・7月、8月の2か月間は、個別接種と大規模接種になり、緑センター、保健センターでの集団接種は行わないということを各部共通認識としてほしい。

## 2 各部連絡事項

（学校教育部長）

- ・東京都より、市独自で教職員の職域接種できるか否かの確認の調査依頼があり、現時点では接種体制の関係から職域接種が難しいことから、今後も職域優先接種の実現に向けて検討し、旨を回答予定である。

（福祉保健部長）

- ・9会派合同の要望書が提出されたので、配付している。

（副市長）

- ・今週末は職員に負荷をかけてしまうが、どこでワクチン接種をするにしても、接種券は絶対に必要なものであり、全庁一丸となって取り組んでいきたい。

以上